

令和4年10月7日

栃木市長 大川 秀子 様

都賀地域会議
会長 大塚 紀通

令和5年度実施分
栃木市地域予算事業計画書

栃木市地域づくり推進条例第5条及び栃木市地域予算提案制度実施要領第5の規定により、下記のとおり地域の課題の解決及び地域活性化のための事業計画を提出しますので、事業実施に必要な財政的措置を講じられますようお願いいたします。

記

【事業総括表】

番号	事業名	事業費（千円）	担当部課
1	つがの里活性化事業	2,237	都市建設部公園緑地課
2	都賀地域交通事故防止対策事業	399	生活環境部交通防犯課
3	学校防犯対策事業	1,243	教育委員会事務局学校施設課
計		3,879	
提案限度額		3,879	

(添付資料)

- ・事業概要書
- ・予算見積書

事業概要書

事業番号

1

地域会議名		都賀	地域会議	実施年度	平成28～令和5年度		
事業名		つがの里活性化事業		分類	新規	継続	
地域課題		ハスの開花時期には多くの来園者が訪れ、写真を撮影したり散策を楽しんだりしているが、年々ハスが弱ってきている。 また、つがの里の来客用駐車場区画線が消えかかっている。					
課題の選定理由		市民の憩いの場であるつがの里を観光やイベントの拠点とし、子どもから高齢者まで多くの世代が楽しみ、集える魅力ある公園とするため。					
事業概要	目的	公園内の環境を充実させ、市内外からの誘客を図り更なる賑わいを創出する。					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ハスの古根除去や株分け、土壌改良などを実施しハスの再生を図る。 駐車場の区画線を引き直し、来客者が利用しやすい環境を整える。 					
	実施期間	令和5年度					
	担当部署	都市建設	部	公園緑地	課室	公園整備	係
	役割分担	【行政】			【地域】		
行政関与の妥当性		<p>【担当部署意見】</p> <p>つがの里の施設を整備することにより、来園者の増加が見込まれ、利用しやすい環境となる事業であるため妥当である。</p>					
事業評価	成果見込み	ハスが元気を取り戻し、園内環境と景観が向上することにより更に多くの人々が訪れるようになる。また、駐車場整備により利用しやすい環境となる。					
	今後の取組み	栃木市の観光拠点として多くの方に来園していただけるような取り組みを引き続き検討する。					
年度別事業費 (千円)	年度	R4	R5	R6	総計		
	事業費	1,298	2,237	0	3,535		
	維持管理費	0	0	0	0		
	合計	1,298	2,237	0	3,535		

予算見積書

事業番号	1
------	---

地域会議名	都賀 地域会議				
事業名	つがの里活性化事業				
本年度予算額(千円)①	前年度予算額(千円)②	比較 ① - ②		分類	
2,237	1,298	939		新規 <u>継続</u>	
事業概要	公園内の環境と景観を向上させることで誘客を図り、利用者の利便性を向上することにより更なる賑わいの創出を図る。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・つがの里ハス池再生工事 ・駐車場区画線工事 				
節・細節	本年度(千円)	前年度(千円)	比較	説明/積算式	金額(千円)
14 工事請負費	2,237	1,298	939		
03 工事請負費	2,237	1,298	939	・ハス池再生工事	
				993,000円×1式×1.1=1,092,300円	1,093
				・駐車場白線引き直し工事	1,144
				1,040,000円×1式×1.1=1,144,000円	
計	2,237	1,298	939		

事業概要書

事業番号

2

地域会議名		都賀 地域会議		実施年度	令和3年～令和5年	
事業名		都賀地域交通事故防止対策事業		分類	新規	継続
地域課題		自転車は通勤・通学だけでなく、子どもから高齢者まで幅広い世代で気軽に利用できる乗り物である。しかしながら、交通ルールやマナー違反などにより、交通事故の当事者となってしまう恐れがあることから、児童生徒や高齢者の交通事故防止及び交通安全に対する啓発の必要性がある。				
課題の選定理由		令和4年4月に栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（栃木県自転車条例）が制定されたことにより、改めて都賀地域の児童生徒及び高齢者を対象に、交通事故防止のための啓発活動や交通ルールの周知が必要であるため。				
事業概要	目的	児童生徒及び高齢者の交通安全意識を高め交通事故防止を目的とする。				
	内容	都賀地域内の小中学校及び高齢者を対象にスケアードストレイト交通安全教室を行う。また、交通安全啓発物品を配布する。				
	実施期間	令和5年度				
	担当部署	生活環境	部	交通防犯	課室	交通防犯 係
	役割分担	【行政】 スケアードストレイト交通安全教室を実施する。		【地域】 交通安全の意識を高め、交通事故を起こさない、遭わないようにする。		
行政関与の妥当性		【担当部署意見】 児童生徒及び高齢者の交通安全意識が高まるので妥当である。				
事業評価	成果見込み	児童生徒及び高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の減少が期待できる。				
	今後の取組み	本事業を継続事業とし、毎年、小中学校及び高齢者を対象として順番を決めて実施する。				
年度別事業費 (千円)	年度	R4	R5	R6	総計	
	事業費	399	399	0	798	
	維持管理費	0	0	0	0	
	合計	399	399	0	798	

事業概要書

事業番号

3

地域会議名		都賀	地域会議	実施年度	令和5年		
事業名		学校防犯対策事業		分類	新規	継続	
地域課題		<p>昨今、児童生徒に対する防犯対策が進められている。 特に学校生活の中で少しでも児童生徒の安全確保ができるような対策が必要と思われる。</p>					
課題の選定理由		<p>昨今、児童生徒が日中の大半を学校で生活することになり、不審者等への対策も防犯のために必要と考える。</p>					
事業概要	目的	児童生徒を不審者等から守り安全な学校生活を確保することを目的とする。					
	内容	都賀地域内の3小学校（合戦場小、家中小、赤津小）に録画機能付き防犯カメラを設置する。					
	実施期間	令和5年度					
	担当部署	教育委員会事務局		学校施設	課室	施設営繕	係
	役割分担	【行政】 地域内の小学校に防犯カメラを設置する。			【地域】 児童への防犯意識の高揚を図り、防犯カメラ機器類の運用を行う。		
行政関与の妥当性		<p>【担当部署意見】 児童の防犯意識を高め、防犯カメラによる校内監視ができるため妥当である。</p>					
事業評価	成果見込み	児童の防犯上の安全性が高まり、不審者等からの被害を防ぐことが期待できる。					
	今後の取組み	防犯カメラが設置され、機器類の適正な管理を行う。					
年度別事業費 (千円)	年度	R4	R5	R6	総計		
	事業費	0	1,243	0	1243		
	維持管理費	0	0	0	0		
	合計	0	1,243	0	1243		

